事業改善シート(令和2年度実施事業分) 事業番号 09 03 02 □当初要求 口当初予算案 ■補正予算案 □点検 部局 課·室 農業技術課 事 業 名 環境にやさしい農業推進事業 実施期間 H16 ~ E-mail nogi@pref.nagano.lg.jp 総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0) 8つの重点目標 総合的に展開する 2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進 重点政策 4-5 地球環境への貢献

#### 1 事業の概要

TE 4.15	○「エコファーマー」認定や「信州の環境にやさしい農産物認証」などにより環境負荷低減の取組は拡大しているが、面的・組織的な広がりには至っていない ○GAPは農業者の経営改善上、必要不可欠な取組であり、GAPの取組及び認証取得の拡大が求められている	2年度 予算額	108,933 千円
(予算編成時)	○新たな病害虫の発生や薬剤抵抗性を有する病害虫の増加等に対し、的確な情報発信と防除指導が求められている ○残留基準値超過や飛散等の事案が発生しており、一層の農薬適正使用の指導が必要である	職員数	18.50 人

# 目指す姿

○GAPの取組を基礎に、食品の安全確保や環境保全の取組が盛んに行われ、環境と調和した農業が広く展開される

○環境農業技術の導入が進み、地域ぐるみの環境農業の取組が進められ、自然環境への負荷の少ない農業が営まれる

○環境農業が環境保全や食品安全に寄与していることが消費者に評価され、環境農業で生産された農産物が消費者に選択される

○全ての農業者が農畜産物の安全性確保に対する高い意識を持ち、農薬の適正使用など、適正な農業生産活動が行われている

(主な実施内容: よりレベルの高いGAPの取組を拡大、環境保全型農業直接支払の取組拡大 )

	区	分(単位:千円)		分(単位:千円) R元年度		2補正後
		前年度繰越				
	予算		当初予算	122,167	109,142	109,142
事	額	補正予算				-209
ᅫഺ			合計(A)	122,167	109,142	108,933
業			一般財源	22,754	23,433	23,224
⊐	Aσ	)	県 債			
ス	財派	原	国庫支出金	99,317	85,627	85,627
	^		その他	96	82	82
7	決		算 額(B)	75,952		
		算件	職員数(人)	18.50	18.50	18.50
	費	• •	概算人件費 (C)	149,887	149,887	152,033
	概算	概算事業費(B(A)+C)		225,839	259,029	260,966

	指標及びその達成状況											
No	成果指標	30年度末	元年度末 (見込)	令和2年度								
INO	<b>八米</b> 相保			目標値	成果	達成状況						
1	国際水準GAPの取得件数	28	38	41								
	化学肥料・化学合成農薬を原 則5割以上削減し、環境保全に 資する技術に取り組む面積	602ha	657ha	706ha								

#### 成果指標 設定理由

①国際水準GAPを取得したトップランナーの増加から、普及状況が評価できるため ②化学肥料や化学合成農薬に依存しすぎない環境と調和した"環境農業"の普及状況が評価できるため

補正により取り組む

事業内容

新型コロナウイルス感染症に伴う事業執行の見直しによる減額

### 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

<u>-</u>	ずれと情况がも間ずれの下1日									
No	細事業名	令和2年度 実施内容(予定)		職員数		令和2年度				
INO	和 <del>事</del> 未有			(人)	(補正前)	(9月補正)	(補正後)			
1	GAP·環境農業総合対策事業	環境にやさしい農業の面的拡大、GAPの推進、有機農 及び肥料登録事務	農業の推進	5.00	14,225	<u>-209</u>	<u>14,016</u>			
2	環境保全型農業直接支払交付金	化学肥料、化学合成農薬の使用を50%以上削減した」 暖化防止、生物多様性保全の取組への交付金	上で地球温	1.50	36,464		36,464			
3	植物防疫事業	病害虫の発生予察及び適正防除の推進		10.00	56,483		56,483			
4	農薬安全使用対策事業	農薬の適正使用の推進及び農薬の登録拡大		2.00	1,970		1,970			
			合計	18.50	109,142	<u>-209</u>	108,933			

## 事業改善シート附表

事業番号 09 03 02	事業名	環境にやさしい農業推進	集			部局	農政部	部	課・室	農業排	支術課		□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検
4			実	Ę		2年度	30年度	30年度 元年度		令和2年度			
細事業 No	細事業名	項目	施方法	令和 2 年度 実施内容	令和2年度 実施内容 (実績)	実施状況	当初(千円)	当初 (千円)	要求(千円)	当初(千円)	補正 (千円)	<b>決算</b> (千円)	備 考 (R元事業番号)
1	GAP・環境農業総合対策事業	GAPの推進	直接	・GAPの認知度向上 ・GAP認証レベルアップ及び第三者認証取得支援			39, 750	15, 244	7, 029	7, 029			
1	GAP・環境農業総合対策事業	環境農業推進事業	直接	<ul><li>・環境にやさしい農業の普及</li><li>・環境にやさしい農業の面的拡大</li><li>・IPMの推進</li></ul>			4, 018	4, 107	4, 017	4, 017	-209		
1	GAP・環境農業総合対策事業	有機農業プラットフォーム推進事 業	直接	・プラットフォームによる勉強会開催及び先進活動支援 ・技術支援、相談活動の実施			362	362	3, 097	3, 097			
1	GAP・環境農業総合対策事業	肥料登録・更新	直接	· 新規登録、有効期間更新			82	96	82	82			
2	環境保全型農業直接支払交付金	環境保全型農業直接支払交付金	交付金	・化学肥料、化学合成農薬の使用を50%以上削減した 上で地球温暖化防止、生物多様性保全の取組への交付 金			31, 000	35, 000	38, 000	35, 264			
2	環境保全型農業直接支払交付金	環境保全型農業直接支払推進交付 金	交付金	・推進活動等事務経費への交付金(市町村)			600	600	600	600			
2	環境保全型農業直接支払交付金	環境保全型農業直接支払推進交付 金	直接	・環境保全型農業の推進活動事務経費			600	600	600	600			
3	植物防疫事業	病害虫発生予察の推進	直接	・病害虫発生予察ほ場の設置及び調査			7, 768	7, 296	5, 917	5, 917			
3	植物防疫事業	植物防疫総合情報ネットワークへ の加入	直接	・日本植物防疫協会が提供する農薬登録情報等の検索 システムへの加入			389	389	396	396			
3	植物防疫事業	病害虫防除員の設置	直接	・市町村区域内で防除指導を行う病害虫防除員の設置			120	120	120	120			
3	植物防疫事業	農薬登録拡大推進事業補助金	補助金	・本県が重点的に実施する農薬登録に係る試験の調整 業務を行う県植物防疫協会に対して補助			1, 700	1, 700	1, 650	1, 650			
3	植物防疫事業	輸出植物検疫協議の迅速化事業	直接	・農産物輸出相手国との検疫協議を迅速に進めるため の措置案に係る調査			1, 200	1, 200	1, 210	1, 210			
3	植物防疫事業	病害虫防除所運営費	直接	・病害虫防除所の設置及び運営			4, 534	5, 668	6, 690	6, 690			
3	植物防疫事業	重要病害虫まん延防止対策事業	直接	・ミバエ等の侵入警戒調査 ・テンサイシストセンチュウの防除の実施及び効果検 証 ・薬剤耐性リンゴ黒星病の発生状況調査、防除対策の 周知徹底			151, 550	47, 720	40, 500	40, 500			
4	農薬安全使用対策事業	農薬危害防止対策事業	直接	・農薬の適正使用の推進			594	611	613	613			
4	農薬安全使用対策事業	農薬リスク低減対策推進事業	直接	・マイナー品目の農薬登録拡大			1, 206	1, 204	1, 107	1, 107			
4	農薬安全使用対策事業	埋設農薬処理対策事業	補助金	・環境モニタリング調査の実施			250	250	250	250			
		合 計					245, 723	122, 167	111, 878	109, 142	-209	0	